

憎き鉄砲虫の対策は、

こんにちは、千代田園芸社の石倉です。

今年は例年に無く早い梅雨入りと台風襲来でどんな夏がやってくるのかとても心配です。

温度と湿度は病気や害虫の発生にとってもかわりがありますし、皆様も苦労される夏の灌水にも大きくかわってきます。

その中で、今回は緊急にお問い合わせの多い害虫対策の特集を組みました。

樹木には病気と害虫などがあります。害虫にはダニもふくまれます。たくさんある害虫の中で今回は特に厄介な鉄砲虫についてお答えしたいと思います。

鉄砲虫はカミキリムシが卵を木の幹に産みつけ、幼虫が幹の中を食べながら育っていくものです。(松喰虫も似ています。)



木の幹に鉄砲の銃身のように穴を開けるから鉄砲虫というそうです。

とても発見が難しく、様子が変わると気が付いた時



千代田園芸社の石倉です。

には手遅れになっています。その前に手を打つ必要があります。

まず鉄砲虫の入りやすい樹種ですが、

モミジ

エゴ

ドウダンツツジ

サザンカ

みかん

イチジクなどです。

次に、庭を歩き木の根元に小さなおがくずが落ちていないか注意深く観察します。

場合によっては、土と幹の境を指で少し掘ってみて幹が齧られていないかも確認してください。

おがくずがあれば必ず幹のどこかに小さな穴があるはずですので、その穴を見つけてください。



こんな穴を見つけてください

ここまでできましたら、いよいよ駆除ができます。

そこにスポイトで殺虫剤をいれ蓋をします。蓋はチューイングガムや粘土で結構です。これでは鉄砲虫の駆除対策は終了です。

鉄砲虫の駆除はとても難しいので、実演をしたいと

思います。

7月の第3土曜日(16日)、と海の日(18日)午前9時からの2回予定します。雨天の場合は中止にしたいと思います。ご希望の方は同封した申し込み用紙でFAX下さるか、お電話ください。

また、わからない病気や虫がついた樹木があれば葉を持って来ていただければ、対策をお話できると思います。庭や木々についてやその他いろいろ雑談もしたいですね。ちょっと暑いかな？

草花は、毎日水をやればOKとっていませんか

草花は、年中水を必要としますが特に夏は蒸発をしますので水やりは重要になります。

水遣りの役割は次のような役割があります。

- 植物に水を吸収させる
- 水と共に、根が吸収するのに必要な酸素を供給する
- 葉に付着したほこりなどを落とす
- 高温期には、葉や土の温度を下げる

それでは水遣りはいつするのが効果的かをお話します。

水遣りはいつする？

時間帯でいえば、「水遣りは朝のうちに」が基本ですが、季節により時間帯や回数を変える必要があります。

【夏の水遣り】

暑い夏の盛り、早朝か夕方たっぷり水を与えてください。表面がぬれていても根先まで水分が滲みているかが大切です。毎日ちょこちょこ与えていると甘えん坊になるので、十分与えれば毎日でなくて良いです。また日中にシャワーのように木々にふるかけるのはやめましょう。水滴がレンズに

なりやけどを起こします。

【冬の水遣り】

冬期の水遣りは、気温が上がり始める朝～午前中に済ませましょう。

夕方に与えると、日が翳ったと

たんに水気を含んだ鉢土の温度が冷え、最悪の場合は植物が凍死してしまうこともあります。

冬は人間がのどが渴いたと意識することが少ないので、植物の水遣りを忘れることが多いです。

夏ほどではなくても異常乾燥注意報が出てる時などは、注意が必要です。

造園業では、水遣り3年というぐらい難しいので、よく木と会話してやってあげてください。

【ご注意】

松に毛虫が異常発生しているお宅がおおいです。

一度松を見てください。枝に枝そっくりの色でくっついてますよ。割り箸でつまんで捨ててください。

事務所を21年ぶりにリフォームしました。

汚い事務所がちょっとだけきれいになりました。

お気軽に覗いてください。



こんな虫に気をつけてください。

